

入寮式 (2026.4.3)

2026年4月3日(金)の午後、入寮式が寮食堂にて行われ、新中学1年生のうち111名、新高校1年生のうち32名が寮生の仲間入りをしました。

入寮式では、アントニオ・クビヤス校長から、「ラ・サールの教育では隣人愛を大切にしています。そのため、まず身近な人を大切に、寮生活では、優しい言葉、丁寧な態度、思いやりのあるふるまいを大切にしてください。困ったときは相談しましょう。寮生活はいつも思い通りにいくとは限りませんが、その一つひとつの経験が、皆さんを人間的に大きく成長させます」と挨拶がありました。

その後、堤副校長からの挨拶では「自己管理」「違いを受け入れること」「感謝の気持ちを伝えること」の大切さが述べられ、宮崎教頭からは「他人のアドバイスを受け入れ、高い目標を目指すことで、魅力的な人物になろう」と、志を持って新たな環境での生活を始める寮生たちへ、励ましの言葉が続きました。

その後、寮教諭、中1a~d組と高1EF組の担任の紹介があり、入寮式は終了しました。

寮に到着した当日の式だけに、新寮生の面持ちには緊張も見えましたが、新たな友との新生活への期待も垣間見えました。程なく不安や寂しさを乗り越えて、充実した寮生活を送ることになるでしょう。

